

記者発表資料

「岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおける実践的園芸福祉活動-教育学部附属特別支援学校との共同環境整備-」

略称「センターの園芸福祉（活動）-福祉環境整備」

目的

岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター（以下センター）における実践的園芸福祉活動の一つとして、農学部で開発された技術を用いて教育学部附属特別支援学校とセンターとが協同で実施する。本活動の詳細については、教育学部附属特別支援学校の生徒が校外で行う作業の場においても、日々の学習の成果を発揮することができることや、校外の指導者に対して、質問したり報告したりして指示されたことを正確にやり遂げることができることを確認することである。

内容

特別支援学校の花壇実習の場として、事務局棟前の駐車場の花壇用スペースを利用する。昨年度は、冬春花壇用にパンジーを定植した（写真1）が、夏花壇用としてペチュニアを定植する。

作業内容としては、農学部と民間企業（みのる産業）とで協同開発された新規植物育成用固化培地（商品名：エクセルソイル、固まっいて崩れないため誰でも植えやすい土）で育苗したペチュニア苗を、5月16日（金）10時-11時に花壇に定植する。当日、センター開講講義「ガーデニング入門（実習を含む）」の一講義として、履修学生の中の希望者（開講時間が異なるため）が特別支援学校生と共同で作業を行うことで、園芸福祉現場の実情を学ぶ。

その後、6月6日（金）と7月11日（金）に花壇の整備（除草、追肥）をおこなう。



写真 1. 特別支援学校生と本学学生によるパンジーの定植

大学院自然科学研究科 准教授 後藤丹十郎 (251-8318)